

くらしのパートナー

■発行/文京区消費生活センター 〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21
文京シビックセンター地下2階 TEL 5803-1105 FAX 5803-1342

もくじ
ニセの警告画面にご注意…………… 1
資産運用の際のポイント…………… 2
消費生活研修会のお知らせ…………… 4



ハイ!こちら 相談室です

パソコンのニセの警告画面に 騙されないで!



事例 パソコンでインターネットを見ていたら突然、「ウイルスに感染した」という画面が現れ、警告音が鳴った。驚いて画面にあった電話番号に連絡すると、片言の日本語で「ウイルスに感染している可能性がある。調査は無料だ」と説明された。言われるままに遠隔操作ソフトをインストールしたら、事業者がパソコンを操作し「ウイルスにより個人情報流出している。すぐに除去が必要だ。3年間のサポート付きウイルス除去サービスを契約するように。代金は3万5000円だ」と言われた。クレジットカード番号を伝えて契約し、修復作業をしてもらった。その後、もともとパソコンに入れていたセキュリティソフトで確認したらウイルスを感知した形跡がなく、不審に思った。事業者の確認の電話をしているが分からない。信用できる事業者なのか。

インターネット閲覧中に突然、警告画面が表示されるという相談が増えています。危険があるかのような文面と同時に警告音が鳴ったり、大手OSメーカー名などが書かれている場合もありますが、パソコンがウイルス感染したと消費者を不安にさせて電話を掛けさせるニセの警告画面です。不正広告の一種ですので、警告画面をうのみ

にせず、再起動等で画面を消せば問題ありません。

対処が必要だと思って電話すると、事例のように遠隔操作ソフトをインストールするよう誘導され、サポート契約などを勧誘されます。契約すると、自動更新契約で続けて料金を請求される恐れもあり、解約の申し出やクレジットカード番号の変更などの対応が必要ですが、事業者の拠点が海外のことが多く、契約後に連絡が取れなかったり対応が外国語だったりして対処が困難な事例もあります。困った場合は、消費生活センターに相談してください。

ニセ警告画面がどのサイトに仕掛けられているのかを、消費者が事前に把握することは困難で、ウェブサイトを利用する誰もが遭遇する可能性があります。ニセ警告画面に騙されないためにも、日ごろからパソコンのOSを最新状態にし、セキュリティソフトの利用を心掛けましょう。

困ったときは消費生活センターへ
TEL 5803-1106

資産運用をする際の押さえておきたい 基本的な5つのポイント

≡ はじめに ≡

公的年金の減額、介護や医療負担の増加など将来の生活への不安が高まる中、少しでも手元の資産を増やそうと資産運用を考える方も多いのではないのでしょうか？

資産運用は将来の不安を和らげる対策にもなりますが、一方でリスクもあります。資産運用をするうえでポイントを見てみましょう。

ポイント① 資産運用の目的や期間を明確にする

資産運用の第一歩は、まず、何のために資産を運用する必要があるのかという目的、金額、運用期間を明確にすることです。例えば、5年後に住宅を買うために頭金として500万円を貯める、子どもの教育資金として大学に進学するまでの10年間で300万円を貯める、あるいは退職をするまでに老後資金として1,000万円準備するなど、できるだけ具体的に細かくイメージすることが大切です。

家族の今後のライフイベントや必要なお金を時系列にまとめたライフイベント表(※表)を作ると良いでしょう。頭の中にある漠然としたイメージを「見える化」する効果があり、ライフイベント表を作ることによって、【いつまでに】【何のために】【いくら】お金を準備する必要があるのかを整理することができます。

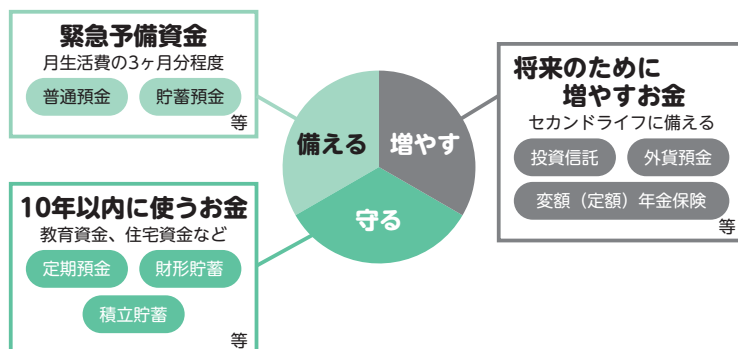
ライフイベント表【例】

年	父	母	長女	次女	イベント	資金準備
2017	40	38	10	7	住宅購入	頭金 500万円
2018	41	39	11	8	家族旅行	旅行資金 30万円
2019	42	40	12	9		
2020	43	41	13	10	長女 中学入学	入学費用 10万円
2021	44	42	14	11		
2022	45	43	15	12	車の買い替え	車購入資金 150万円

ポイント② 目的に合った方法で運用する

資産を運用する場合、「どの金融商品（投資信託、定期預金など）で運用するのか」と金融商品から選びがちですが、資金目的や金額、運用期間をイメージしてから、その資金を準備するための目的に合った運用方法を選ぶことが大切です。(右図を参照)

例えば、病気などの緊急予備資金として準備する際には、いつでも引き出せること



が重要なので、普通預金や貯蓄預金など流動性がある商品が効果的といえます。教育資金や住宅の頭金、リフォーム資金や旅行資金など将来使う金額がある程度決まっているものは、確実に貯められる定期積立や財形貯蓄、10年以上使わないお金や将来のために備える資金は増える可能性がある投資信託や外貨預金、老後のための資金づくりでは年金保険や個人型の確定拠出年金などが効果的でしょう。

なお、金利優遇が受けられたり奨励金が出る積立制度を導入している企業もあるので、会社の積立制度も確認することを忘れずに！

ポイント ③ 自分のリスク許容度（考え）をしっかりと把握する

運用には値動きがつきものです。リスク許容度とは、自分がどれだけの損失に耐えられるのかという度合いのことで、運用できる期間や運用の理解度、資産の金額などを考慮して図ることができます。例えば、運用期間が長ければ、途中で大きく損をしても挽回できる期間がありますが、運用期間が短い場合には挽回できずに自分が予想していた金額を準備できない可能性があります。一般的には運用期間が長いほど積極的に運用しやすいといえます。

もし、自分の考えに合わない商品を選んでしまうと「こんなに大きく損するとは思わなかった」「別の商品にしておけば良かった」など不満や不安を感じたり、自分の予定した資金を準備できないかもしれません。途中で不満や不安を感じないように、長く安心して運用を続けられるように、まず、自分がどれくらいの損失であれば耐えられるのかをイメージして、そのリスク許容度や自分の考えに見合った商品を選ぶことが重要です。

商品を選ぶ際には必ず短期的な利回りだけでなく、自分が購入しようとしている商品の過去の長期的な値動きを見て、自分がその値動きに耐えられそうなのか、ということをチェックしておくことをおすすめします。

ポイント ④ 商品を選ぶ際にはコストもチェックする

投資信託や外貨建て商品、保険商品など多くのリスク商品を活用する際には、コストもしっかりチェックしましょう。例えば、投資信託では、購入する際にかかる費用、運用している最中にずっとかかる費用、商品を解約する際の費用がありますが、商品を購入する金融機関や商品によっても手数料の割合は異なります。どんなコストがいつ、どの程度かかるのか、そのコストが期待できる収益に見合っているのかも確認しておきたいものです。

ポイント ⑤ 定期的に見直しをする

運用を始めた後は、定期的に見直しをすることも大切です。例えば、退職金を運用しようというケースで今はリスクをとって運用してもいいと考えている場合でも、5年後、10年後もそのまま良いとは限りません。一般的に年齢を重ねるにつれてリスクはとりにくくなりますし、経済状況や家族のライフプランが変化する可能性もあります。

したがって、最終的に自分が必要な時期に必要な金額を準備できるように、世の中の経済状況や家計の状況、家族のライフプランやリスク許容度の変化に合わせて定期的に見直しをしていくことも検討しましょう。

消費生活研修会 好評実施中!

消費生活に関する様々な知識を習得していただくために、専門家をお招きし、研修会を開催しています。

平成29年度これからの研修会

テーマ	開催日時	場所
防災・減災の基礎知識 ～日常生活からできること～	9月29日(金) 14:00～16:00	日本大学危機管理学部 准教授 鈴木秀洋氏
知っておきたい確定拠出年金の基礎知識 ～見直しませんかライフプラン～	10月13日(金) 18:30～20:30	日本証券業協会 金融・証券インストラクター

会場 産業とくらしプラザ研修室(文京シビックセンター地下2階)

対象 区内在住・在勤・在学者

定員 30名

費用 無料

申し込み 電話で消費生活センターへ(申し込み順)

締め切り 定員になり次第受付終了

今後とも区報等で開催をお知らせします。

皆様のご受講を
お待ちしております!!



～「消費生活出前講座」皆さんの地域に伺います!～

「高齢者が巻き込まれやすい消費者トラブルを知りたい。」
「子どもにお金や携帯電話トラブルの話をしてほしい。」などのご要望を受け、
10人以上のグループ・団体の集まり*に、講師を派遣し出前講座を行っています。
DVDやパンフレットを用い、わかりやすく説明します。

*高齢者クラブや会合、町会や自治会の集まり、PTA活動、新入社員研修など

講義テーマ **ご相談に応じます。** 例えば・・・

- ①「文京区に多い相談事例」
- ②「高齢者が被害にあう悪質商法対処法」
- ③「振り込め詐欺・架空請求」
- ④「携帯電話とインターネットトラブル」 など

講義時間 10分～1時間程度でご都合に合わせてご指定可能です。

費用 無料

依頼受付 希望日の4週間前までを目安に、文京区消費生活センターまでご相談ください。



文京区消費生活センター

〒112-8555

東京都文京区春日1-16-21

文京シビックセンター地下2階

TEL 5803-1105 / FAX 5803-1342

相談専用 TEL 5803-1106

受付時間 9:30～16:00(月～金 ※祝日・年末年始を除く)

文京シビックセンター 最寄駅

- 地下鉄
東京メトロ丸ノ内線・南北線
→後楽園 下車
都営三田線・大江戸線
→春日 下車
- 都営バス
→春日駅 下車
- 文京区コミュニティバスBぐる
→文京シビックセンター 下車

